JOA

も利用率が高かったということ

定期便にはYS―11型機が運行

し、当時の地方空港の中では最

旧秋田空港航空写真

(資料番号:930101-50534「秋田空港の概要」 昭和56年6月撮影

第23号 平成21年3月15日



旧秋田空港に着陸したYS-11型機 (資料番号:06-1832「あきた」昭和44年4月)

冬期休航していた札幌―函館―秋田便の再開を祝うセレモニー (資料番号:06-1832「あきた」昭和4年4月)

億」を「記録」として残していく

ことも公文書館の大事な使命で

通化に果たした役割は大きく、 使命を終えました。 秋田空港が雄和町(現・秋田市雄 五十六年六月二十六日、現在の 港建設が計画されました。昭和 を受けやすく、またジェット化 風、降雪、滑走路の凍結等の影響 置されたため、日本海からの横 北に走る海岸線にほぼ並行に設 また多くの県民の記憶にも残っ 和) に開港し、旧秋田空港はその への対応が必要なことから新空 ているところです。こうした「記 旧秋田空港が秋田県の高速交 しかし、雄物川河口に近く、

秋田空港を上空から撮影したも ね。実はこの写真は昭和五十六 浜や川などがすぐ側にあります 路に平行した誘導路がなく、砂 のです。あれ?よく見ると滑走 資料に掲載されている写真で、 上の写真は、公文書館の所蔵

開港されました。秋田駅西方約 mでした。東京・大阪・札幌との 七㎞に位置し、滑走路は千五百 体に合わせて秋田市新屋割山に 月一日、第三種空港として同年 の姿です。 年に廃港となった、旧秋田空港 十月八日から開催された秋田国 旧秋田空港は昭和三十六年十

料紹介

元 |禄国絵図(出羽七郡絵図)につい て

うち、正保期(「出羽一国御絵図」)と 期・元禄期・天保期のものが知られて 蔵しています 命によって作成された慶長期・正保 郡単位の絵図の総称であり、幕府の 元禄期(「出羽七郡絵図」)のものを所 ます。当館では、それらの国絵図の 絵図は江戸時代に作成され た国



出羽七郡絵図」(男鹿、 潟上付近

四十八分割写真帳と全図の複製が閲 行われてきませんでした。縦六二五 原本は、明暦の大火で消失して現存 覧室にあります。幕府に提出された ています。撮影も二度行われており、 二十七年に県有形文化財に指定され にわたる出羽十二郡すべてが描かれ ることができるようになりました。 覧もできませんでした。今回の撮影 cm×横七二六cmの大きさがあり、閲 はあまり知られることがなく、撮影も れています。それに対し、元禄国絵図 から江戸藩邸にあった控図と考えら しておらず、当館所蔵のものは箱書 ており、所蔵絵図としては最大の縦 によって分割写真(四十八分割)で見 一二m×横五m余の大きさで、昭和 正 保国絵図は秋田 ·県·山形県 両県

成事業が行われました。出羽国十二 に入り、 にすぎないとされています。正保期 物は写しのみが十カ国分残っている に始まりますが、西日本に限られ、 幕府の国絵図作成事業は、慶長期 全国六十八カ国の国絵図作 現

> う点は、出羽国十二郡を五大名に分 の確認を経て、清書されて元禄十五年 するように指令されたことなどでし 準が示され全国的な統一基準で作成 とになったこと、正保より細かな基 割し出羽七郡を佐竹氏が担当するこ した。この国絵図が正保のものと違 国絵図の作成が幕府から指 す。正保国絵図作成から五十年後、元 ました。それが「出羽一 保四年(一六四七)に幕府に提出され 郡は佐竹氏が差配して作成され、 十二月に提出されました。 た。完成した国絵図は、幕府絵図役人 禄十年(一六九七)閏二月に、 国御絵図 示されま 、新たな 正

た後 絵図 ものは、 ちらも久保田藩庁から秋田県庁へ受 ません(出羽国はなし)。当館所蔵の 国立公文書館に八鋪しか残されてい 府に収納された原本八十三鋪のうち け継がれたものと考えられます。幕 移管されたものと思われるので、ど 県C―一七二です。前者ももとは県 る元禄期の絵図が二点あります。一 庁で旧蔵されていたものが図書館へ 点は県立図書館旧蔵の整理番号なし (箱入り)で、もう一点は県庁旧蔵の 当館には、出羽七郡絵図とよば (内見図)で、幕府の改めを受け 修正されて作成された控図が 後者が幕府に提出された下 れ

> るでしょう。 受けて元禄期の秋田県(鹿角郡を除 が失われた現在、正保国絵図の後を たものであることは違いなく、原本 が、元禄国絵図作成の過程で作られ ています。今回撮影した前者の絵図 図の控、後者を元禄国絵図の写とし 氏)。古い目録では、 く)の状況を示す貴重な史料といえ (『国絵図の世界』出羽国3、 前者であろうとする指摘もあります 前者を元禄国 小野寺淳

図を検討することで、元禄期の秋田 には十四点あります。これらの縁絵 代のはっきりしているものが、当館 て作成されたと思われる絵図で、年 物館『絵図を読む』)。それらに関係 いることがわかっています(県立博 伊達氏、南部氏、津軽氏と交渉をして 月に六郷・生駒・仁賀保氏、翌年には 十三年の三月に戸沢氏(新庄領)、八 立博物館所蔵の守屋家資料から元禄 の際に縁絵図が作成されました。県 他領との国境確定作業が行われ、そ の場合、元禄十三~十四年にかけて れた点があげられています。秋田 できます。 領の国境に関する状況を知ることが 作業を厳密に行い領域の確定が行 元禄国絵図の特徴に、国境の確 わ 定

古文書班 隆

資料紹介

秋田県略史」について

刊行されず県庁に備え置かれまし す。「秋田県略史」は肉筆の和装本で、 田県史」全十五巻が刊行されていま 六年(一九六一)から四十一年に「秋 六年に「秋田縣史」全七巻、昭和三十 十二年までを範囲に叙述されまし ます。和銅五年(七一二)から明治二 冊と附録五冊から成ります。秋田県 た。その後、大正四年(一九一五)から 完成しました。表のとおり、本編十一 ?治版「秋田県史」とも位置づけられ :公的に編纂した最初の歴史書で、 八八)一月に起稿され、翌年二月に 秋田県略史」は、明治二十一 年(一

県の照会に対し、十分に回答できな 各藩から引き継いだ古文書や古記録 庁、十年に太平学校が火災に遭い、旧 着手しました。秋田県では、六年に県 は県令に着任するや、文書管理制度 ほとんどを焼失しました。そのた 再編と併行し、県史の編纂事業に 明 過去の記録に関する政府や他府 治十九年、青山貞(旧越前藩士)

> 史」は記録の不備を補う目的から編 纂されたものです。編纂の実務は前 田利貞が行いました。 い状況が続いていました。 秋田 県略

> > 族

す。また、旧南部藩の鹿角郡について とも述べています。 ため、他郡より内容が詳細でないこ は、戊辰戦争で記録を多く散逸した 藩による記録の不統一を挙げていま 古代・中世の記録の少なさ、近世の各 た理由に、火災による記録焼失の他 前田は緒言において、「略史」とし

昭和四年刊行の『秋田叢書』第四巻 逸巻の内、附録の「戊辰討賊始末」は、 冊分が収録されています。 に、「戊辰秋田藩戦記」と改題され全 群と狩野文庫に含まれています。散 を合わせ八巻分残り、秋田県庁文書 現在、「秋田県略史」は正本と原稿

具体的に紹介してみましょう。 では、 「秋田県略史」の主な内容

が収録されています。編年体の歴史 前期の秋田県行政に関する基礎資料 巻之四には、表に見るように、明治

> 記されています。 政を調べる際には非常に便利です。 書ではありませんが、この時期の 藩各県の置藩及び置県の年月日が明 「各藩及廃藩置県沿革」の章には、各 県

縁起の原文が記録されています。 巻之六には、著名な神社につい

7

げています。 田・戸澤・小野寺・浅利氏等も取り上 す。近世大名の佐竹・六郷・岩城・生駒 巻之八は、秋田に勢力を張った右 (名族)の略歴をまとめたもので 旗本の仁賀保氏の他 中世の秋

> の沿革が分かります。 記」からは、藩政期以来の窮民救済講 勤王記」「秋田戦争記」を改題し、四冊 作成したものです。狩野徳蔵の「秋 爵家の所蔵文書から関係史料を選び に再編集しました。「秋田感恩講略 附録の「戊辰討賊始末」は、 佐竹 田

とも考えられます。 秋田県沿革史稿」は、四年から二十 一年までを編年体でまとめたもの また、明治二十二年に作成され 「秋田県略史」を補う目的だった

公文書班 柴田知彰

巻 数	内容	資料番号	種類
巻首	緒言、凡例、目録、備考、官使類、附録	930103-12250	正本
巻之一	自出羽建国至文徳天皇齊衡三年	欠	_
巻之二	自清和天皇天安二年至文治元年置守護地頭	欠	_
巻之三	自文治元年至慶応三年 鎌倉附北條 足利 織田 豊臣 徳川	欠	_
巻之四	自明治元年中興至明治二十年中興政略 ·各藩及廃藩置県沿革 ·県庁所在地経緯度 ·県治長次官奏任官任免 ·置県以降官職制沿革 ·各郡役所位置并郡長更迭任免 ·警察部并警察署分署及監獄署沿革 ·尋常師範学校尋常中学校廃置 ·病院医学校廃置 ·各裁判所創設分合及秋田大林区署沿革 ·郵便局電信局創設分合	930103-12246	正本
巻之五	中興政略 ・九郡戸数人口 明治十二年同廿一年比較 ・同田畑宅地市街山林原野反別 明治九年同廿一年比較 ・同物産表 ・同鉱山表	欠	-
巻之六	神社略伝	930103-12245	正本
巻之七	古寺仏刹、勝地古蹟名区、駅路、名山大川	930103-12247	原稿
巻之八	右族略系	930103-12248	正本
巻之九			エイヤ
	人物略伝	欠	
巻之十			正本原稿
巻之十 附 録	人物略伝	欠 930103-12248	正本
	人物略伝 山林植樹者略伝	欠 930103-12248 狩150	正本原稿
附 録	人物略伝 山林植樹者略伝 戊辰討賊始末 一	欠 930103-12248 狩150 狩117	正本原稿
附録附録	人物略伝 山林植樹者略伝 戊辰討賊始末 一 戊辰討賊始末 二	欠 930103-12248 狩150 狩117 欠	正本原稿

「秋田県略史」の内訳

平成二十年度 秋田県公文書館企画展

「武士の日記を読む」

〈後期〉 〈前期〉 (場所) 当館特別展示室 十月二十四日~十一月二十日 八月二日~九月七日



学問・武芸などを通じた武士の交流 れるなど公的な面、 用されたり、歴史編纂事業に活用さ ました。後世に職務の参考として利 する秋田藩士の日記を中心に紹介し 様子をみることができる私的な面 今年度の企画展では、当館が所蔵 家族との生活や

> 常を読む」「幕末の秋田を読む」の三 記を「武士の公務を読む」「武士の日 などに着目し、九人の秋田藩士の

内容にふれました。 閲覧ができることを紹介するなど、 紹介したり、実際に閲覧室で資料の に取り組んでいる当館の刊行事業を 所蔵資料を利用していただけるよう 公文書館についての理解につながる また展示後半では、全国の方々に

だくことができました。 五千五百人を越える方々にご覧いた 資料翻刻シート」を準備するなどの 記本文をじっくり読むための「展 の人物や出来事を取り上げたり、日 や戊辰戦争など教科書でもおなじみ 工夫を重ねたこともあり、期間中は 徳川家康や平賀源内、ペリー来航 示

冑と陣羽織が、秋田市立佐竹史料館 に実際に所蔵されていることが判明 示により、肖像画に描かれている甲 憲忠肖像」については、来館者のご教 さらに、展示初公開となった「梅津

日

部構成で紹介しました。

当館では、秋田県外に所蔵されて

津忠国の日記写一点が含まれます。 宴の父で同じく家老をつとめた梅 とめた梅津忠宴の自筆日記八点、忠 江 クロ収集しました。この資料群には、 る「佐藤(正)家文書」全九点をマイ .戸時代初期に秋田藩の家老をつ 今年度は、千葉県文書館が所蔵す つながりました。 し、両館での関連資料 の同時公開に

であると同時に、当館の閲覧利用の 当館所蔵資料を紹介する貴重な場

ています。 も精一杯取り組んでいきたいと考え 歩となる展示活動について、 拡大や当館活動に対する理解の第 、今後と

平成二十年

県外歷史資料所在調查·収集

して一般の利用に供しています。 フィルム撮影により収集し、複製資 ています。必要な資料をマイクロ を作成したうえで閲覧室に配架 る関連資料の調査活動を実施し

11

された資料がきわめて少ない寛文 0 から元禄初期の様子を記した自筆 わずか一冊伝来するのみでした。残 いましたが、自筆のものは当館には 及ぶ日記を残したことがわかって このうち忠宴については、百冊に 日記資料が一度に八冊も確認で

> いただきたいと考えています。 ていました。ぜひ多くの方々にご覧 政期においても貴重な記録とされ 梅津政景が残した日記とともに、藩 きたことは、たいへんな驚きです。 忠宴日記は、忠宴の祖父にあたる



「梅津忠宴日記」 (千葉県文書館所蔵)

公文書の引渡し・公開状況

で保存期間が経過したものについ で保管している各部署からの公文書 て、毎年引渡しを受けています。 公文書館では、情報公開センター

者への公開等に備えて書庫に保存し 価値があるかどうかを主眼に評価 す。これらについて、歴史資料として 数は、下表のとおり約九千五百件で 選別し、最終的に、約千二百件を利用 前年度引渡しを受けた公文書の総

に点検し、作成原課との協議を経て、 侵害する情報があるかどうかを主眼 もののうち、作成後三十年経過した 開に向けた手続きを行っています。 目録作成・データベース登録など公 公開に向けて個人のプライバシーを 公文書については、毎年利用者への 一方、公文書館に保存されている

1,752 件

2,745 件

4,536 件

39 件

平成19年度引渡し・保存状況

	引渡件数	保存件数	保存率
知事部局から	9,478件 (14,155冊)	1,176件 (1,418冊)	12.4%
教育庁から	21件 (23冊)	5件 (6冊)	23.8%
合 計	9,499件 (14,178冊)	1,181件 (1,424冊)	12.4%

一廃藩置県後の秋田県開庁に関す 二十五日から九月九日まで秋

平成二十年度 秋田県公文書

アーカイブズへのいざない」

〈期間〉 (場所) 当館特別展示室 九月十三日~十月十九日

くの皆様に理解していただく目的 で開催したものです。平成十七年度 い」は、公文書館の役割や活動を多 元に再構成しました。 企画展「アーカイブズの世界」を 普及展「アーカイブズへのいざな

新潟県中越地震の際の歴史資料救 海外や日本の公文書館事情も紹介 による一般の方へのアーカイブズ の公文書保存にも触れました。展示 出活動、平成の大合併に伴う市町村 しました。さらに阪神淡路大震災や 板文書までさかのぼり解説し、また を五千年前のメソポタミアの粘土 入門を意図したものです。 アーカイブズ(公文書館)の歴史

人近い観覧者がありました。

田県正庁東側通路で開催された「県 本コーナーの解説・写真パネルは るアーカイブズを集めたものです 記念日」パネル展示にも活用さ 展示コーナー「秋田県の幕開け

ンターへ閲覧請求をして原本を(非 公開情報は被覆の上)ご覧になれま

公 開

内

訳

合

のでお気軽にご利用ください

約四千五百件です。どなたでもカウ

及び行政資料の総数は下表のとおり

今年新たに公開対象とした公文書

平成20年新規公開状況

昭和戦後期公文書

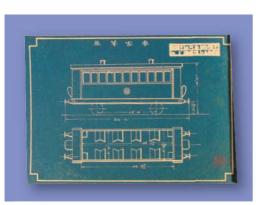
官報·国会会議録

公

行 政 刊 行 物

計

覧者の関心を引きました。鉄道など の開通時の文書を展示し、多くの 道情画や、 紹介しました。幻に終わった私設鉄 県庁文書群から戦前の鉄道関係を れ、来庁者にも好評を得ました。 本の複製写真パネルでしたが、二千 テーマとして有効だったようです。 は生活に身近なものであり、展示 ズの玉手箱」では、 また、展示コーナー「アーカイブ 一か月の会期で、展示資料も原 現在の奥羽本線や羽越線 当館 所蔵の秋 観 田



横荘鉄道の客車図面(青写真)

公文書館講 座

平成二十年度

県内歴史資料所在

調

查

以上に充実させるために、今年度よ てきました。これらの講座を今まで さまざまな講座をこれまでに開催し 講座、資料活用講座、展示解説会など り「公文書館講座」と改称し、三コー スを準備しました。 |館では、古文書解読講座や歴史

A 古文書入門コース (六回)

を学ぶことを目的として、六回連続 の講座を実施しました。 に、古文書の基礎知識や解読の初歩 はじめて古文書を学ぶ方を対象

B 古文書解読コース (四回)

ことを目的として実施しました。 地域で活動している方などを対象 ある方、現在勉強されている方、及び これまでに古文書を読んだことが 解読の知識や方法をより深める

C アーカイブズコース(四回)

て実施しました。 ついて理解を深めることを目的とし 料利用方法や、資料保存活動などに 味・関心がある方を対象に、当館の資 歴史資料や公文書館の諸活動に興

> 間も百二十分に拡大しました。また ど講座内容の充実をはかり、講座時 りました。 講座の一括申込みができるようにな コース制導入にともない、希望する 公文書や映像資料を取り上げるな

年度も一層充実した講座を準備した いと考えています。 方々に参加していただきました。来 今年度はのベ三百七十名を越える



当館では、今年度より古文書を中

査を開始しました。 心とした県内市町村の資料所在調

り組みを進めていきたいと考えて ら直接現状をうかがい、県内に残る の市町村による古文書所在の把握 資 います。 貴重な古文書の保存に向けての取 化などについて、市町村の担当者か 状況や古文書を取り巻く環境の変 いました。今後の調査では、合併後 ごとに教育委員会や資料保存施設 (料を保存する個人宅を訪問して 対合併前の県内旧六十九市町村 平成六年から十三年にかけて、市

問しました。 今年度の調査では、次の地域を訪

十一月六日

湯沢市立湯沢図書館 湯沢市教育委員会

十一月二十六日

十二月九日

美郷町岩屋家 大仙市教育委員会

仁賀保勤労青少年ホーム にかほ市象潟郷土資料館

平成二十年度

寄 贈 料

- 今村義孝収集資料 (東京都)
- 金光家文書(秋田市)
- 創設十周年記念映画

「第四回秋田県総合体育大会.

全国高等学校総合体育大会 映画フィルム記録



平成二十年度 市 町村公文書·歴史資料 保存利用推進連絡会議

古文書等歴史資料の保存・利用につ 推進会議」は、現用段階から整理・保 月二十一日に開催しました。 いての情報交換を目的として、十一 存までを通じた公文書管理・利用や、 市町村公文書·歴史資料保存利用

民にもたらす効果について考える場 書等の適切な保存・活用が行政や住 開がもたらす効果」をテーマに、公文 加があり、「公文書等の整理・保存・公 県内十九市町村から二十七名の参

基調講演「芳賀町の文書管理 「公文書等の整理・保存

職員からは公文書等の適切な保存 視野に入れた内容でした。また当館 を紹介されました。文書保存の意義 サイクル全体を見据えて行った事例 段階から公文書館施設までのライフ 備を職員の意識改革から始め、現用 講演では同町の文書管理体制の再整 務課の山本篤氏にお願いしました。 活用が行政や住民にもたらすメリッ や文書館活動の展望、文書取扱規程 館施設を開設された栃木県芳賀町総 改正や公文書管理条例の制定まで 午前の基調講演は、今年度公文書 公開がもたらす効果

> 利用の動きを注視していきたいと思 有化に努めるとともに資料の保存 させる内容が多く、今後も情報の共 状況等について情報が提供されまし 動状況や自治体史編纂室の史料整理 規程の改正状況、歴史研究団体の活 り、また横手市における文書管理や、 た。県内における適切な公文書管理 各市町村における文書管理に関する きなどについて報告いたしました。 への機運が高まってきたことを感じ -や、国による文書管理法制定の動 ズ構想の状況について報告があ 報交換では、大仙市のアーカイ



平成二十年度 刊行物のお知らせ

秋田県庁文書群目録 第六集

作成しました。 各課・警察部衛生課の簿冊を対象に た公文書のうち、内務部教兵課等の 七月十五日の組織改編下で作成され

付けています。 やすいよう付録として組織変遷表を べることができますが、より利用し 仕事と簿冊の中身を対照しながら調 当時の公文書を作成した部課係 0

秋田県公文書館研究紀要 第十五号

の主要業務の一つです。その成果は 『研究紀要』で毎年発表しています。 所蔵資料の調査研究は、公文書館

刊行物の一覧を記した彙報を載せて 度の当館における事業や寄贈された います。 今号には四本の論考のほか、今年

•••••••••••••••••••••••••••••••

用ください。 五号は、当館のホームページで も公開しています。どうぞご利 『秋田県庁文書群目録』第六集と 『秋田県公文書館研究紀要』第十

宇都宮孟綱日記 第四巻

この目録は明治四十年(一九〇七)

ことが分かります。 便で、八月四日から久保田城内でペ 年六月二十三日に江戸から来た飛脚 綱がペリー来航を知るのは、嘉永六 もペリー来航の記事です。宇都宮孟 六月までの日記を翻刻しています。 五三)一月から安政二年(一八五五) た人物で第四巻では嘉永六年(一八 一の国書の写しが回覧され始めた 宇都宮孟綱は秋田藩の家老を勤 第四巻の見どころは、何と言って

ださい。 は何を見たのか?どうぞお楽しみく 激動する幕末社会に秋田藩の家老

五千五百円で頒布もしていま 図書館でご覧いただけますが、 す。ご希望の方は左記までお申 書館や各都道府県の公文書館 『宇都宮孟綱日記』 し込みください。 は県内の図

〒〇一一一〇九〇一 秋田市寺内三千刈一一〇一 秋田活版印刷株式会社 〇一八(八八八)三五〇〇

秋田県公文

平成二十一年度の事業計

公文書館の全体事業

- 公文書館企画展の開催
- 公文書館講座の開催
- 秋田県公文書館懇話会の開催 市町村公文書・歴史資料保存利 用推進会議の開催
- 所蔵資料検索システムのデータ
- 『研究紀要』第十六号の刊行
- 『公文書館だより』第二十四号
- 『事業年報』第十六号の公表

◇公文書に関する事業

一公文書の受入・整理

(知事部局

- 公文書の評価選別(保存・廃棄) 及び教育委員会等)
- 公文書の非公開情報点検・公開
- 公文書の文書件名入力・公開
- 県政資料(県報、議会会議録等) の目次情報の入力・公開
- 公文書の保護及び複製物作成
- 寄贈・寄託資料の整理、 行政刊行物の収集、整理、 公開 公開

閲覧室常設展示の実施

- 行政資料所在調査の実施
- 進支援 県内市町村の公文書館機能の 推
- の刊行 『秋田県庁文書群目録』 第七集

古文書に関する事業

- 所蔵資料の整理
- 寄贈・寄託資料の整理、 公開
- 絵図資料の複製物作成
- 古文書資料の修復
- 古文書資料のマイクロフィル 化及び複製物作成 Ż
- 資料所在調査の実施
- 館外資料の収集及び複製物作成
- 『宇都宮孟綱日記』 行及びデジタル化 第五巻の刊
- 群目録Ⅰ』の刊行 『所蔵古文書目録第六集 資料
- 『古文書倶楽部』の発行
- 『岡本元朝日記』の原本照合

公文書館 懇話会

公文書館

利用案内

開催しています。 懇話会を平成十七年から毎年二回 及び市町村推薦の委員で構成する 換を行うため、学識経験者、利用者 当館 の業務運営について情報交

年度には委員の改選を行うことに 役立てたいと考えています。 をいただき、当館の利便性の向上に なりますが、新たな視点からの提案 委員の任期は二年で、平成二十一

していますので、どうぞご利用下さ 録と会議資料は、当館のHPに掲載 なお、平成二十年度の懇話会会議

JR秋田駅

周辺案内図



編集発行: 秋田県公文書館

〒010-0952 秋田市山王新町14-31 電話018-866-8301 URL http://www.pref.akita.lg.jp/kobunsyo/

特別整理期間(12月1日~8日)

*平成21年度の休館日

【土·日、祝日】 10時~18時

10時~19時(11月~3月) 10時~20時(4月~10月)

開館時間

旦